

\*はじめに

## 島根の古代史を遺跡を通して見る

### 島根の歴史の解明に重要な役割を果たす発掘調査

近年、新聞やテレビなどで、考古学上の「大発見」がしばしば報道されています。これらの報道を見ると、発掘調査と言つと、あたかも重要な遺跡ばかりを対象に行われているかのように思われるかもしれませんが、しかし実際には発掘調査は全国で年間一万件以上も行われており、「大発見」はその中のまれなケースにすぎません。「大発見」も大切ですが、それ以上に、こうした無数の無名な発掘調査こそが、事実を確実に積み上げ、歴史を復元しているのです。

### 人ひとの息吹を明らかにした遺跡を網羅

遺跡や遺物（これら土地に埋まった文化財を「埋蔵文化財」と呼びます）は、昔の人ひとの活動をそのまま反映しています。埋蔵文化財の調査の成果を積み重ねていくことで、遠い昔のように思えた原始古代を、現代に豊かによみがえらせることができます。

本書では、この埋蔵文化財をさまざまな形で紹介し、それらが明らかにしてきたことを解説します。また道路開発に伴つたような、広域にわたつて行われる発掘調査では、その地域の歴史が一言に明らかになることもあります。安来道路、浜田自動車道などの発掘調査を通して、そうした例も紹介していきます。本書は遺跡・遺物を通して見る、島根県の原始古代と云えるでしょう。

### なくなっていく文化財が残すもの

島根の歴史を明らかにしてきた埋蔵文化財も、実はその多くがすでに姿を消しています。私たち現代人が生活していくために必要な道路や住宅などの開発に伴つて、調査・発掘されたものが多いからです。このような、生活の変化に伴い、しだいに私たちのまわりから姿を消していく文化財は、埋蔵文化財だけではありません。民俗文化財や町並みなどもそうです。本書ではこうした文化財がなくなっていく事実とともに、それらが私たちに語りてくれるものについても取り上げていきたいと思います。

## 目次

島根の古代史を遺跡を通して見る	2
プロローグ	3
島根の歴史を物語る文化財	4
島根の古墳が、日本の古代史を解明しつつある	6
古墳誕生の謎を解く鍵は、島根にあった	7
古墳時代前期最大の方墳	8
前方後方墳の再登場	10
古墳時代の終りも、島根の古墳なくしては語れない	12
全国有数の横穴墓集中地帯・島根	14
死者の世界と現世をさえる扉	15
横穴墓が語る、島根の地域性	16
生活の遺跡が語ること	18
弥生時代後半、島根は緊張状態にあった	19
縄文時代の生活遺跡 弥生時代の生活遺跡	20
古墳時代の生活遺跡 飛鳥・奈良時代以降の生活遺跡	22
コラム 身近で文化財が消えてゆく？	24
発掘された、いにしえの工場	26
「たたら」を掘る 炉の下に眠るたたら職人の「秘伝」	27
広がる玉作遺跡 玉作遺跡が語る、古墳時代の出雲	28
古代の焼物職人に迫る 発掘調査された窯跡	30
掘りおこされた古代の祭り	32
道路 く古代と未来のクロスロード	33
安来ドライブینگメッセージ	34
石見の歴史を貫いた浜田自動車道	36
川に眠る遺跡	38
エピソード・仮想対談 二〇三〇年の考古学者は語る	40
現地説明会に出かけましょう	42

# 序章

# Prologue

**今**、私たちのまわりで数多くの発掘調査が行われているのをご存知でしょうか。知つていても見に行つたことはない、という人も多いと思います。ときどき新聞やニュースに取りあげられることもあります。そのよつな例は、実は全体の半分もありません。

**本**巻は、地味で人目に触れることのないこの発掘調査が、どれだけ多くの成果をあげ、島根の歴史を明らかにするうえで役立ってきたかを紹介したいと思います。なるべく多くの遺跡を紹介するよつな努めました。それでも本巻で扱つた遺跡は約一五〇件と、発掘調査全体のわずか一〇分の一にすぎません。そしてこれらの遺跡のほとんどは、今はなくなつてしまつていくことも、心にとめておいていただきたいと思います。

